

令和2年度 事業報告書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

特定非営利活動法人 リアル・リンク京都

1. 事業の成果

「リアル・リンク」は真に喜びに溢れた繋がりを生み出す地域貢献型の法人で、『環境・福祉・教育・政経の相乗』を合言葉に、ご利用者の喜びがご家族や職員の喜びとなり、その喜びが地域社会を活性化させ、地域社会・ご利用者・職員の好循環を生み出すことを目標に活動し、今年度で発足27年となった。

収益事業の中核をなす介護福祉部門は創業8年目に入り、通所介護（デイサービス（北区））、小規模多機能型居宅介護（北区・右京区）、認知症対応型共同生活介護（グループホーム（北区・右京区））の3事業所で、各事業所ごとの明確な目標を掲げ、職場の透明性・公平性を確保するため職員評価制度を導入、職場環境を整えることにより、職員の定着を図るなど新しい取り組みに着手した。特に右京区の事業所については、前年度後半からの管理体制の不備や深刻な人員不足、加えて新型コロナウイルスの影響によるご利用の自粛が重なったこともあり、大幅に業績が落ち込んだ。この新型コロナウイルスによる影響は他2事業所も同様であった。人材確保のため3事業所とも派遣職員を多く雇用せざるを得ない状況が続いたことも業績不振の要因となり、法人全体で落ち込んだ業績の改善、更なる収益の増加や人材の確保・定着・育成を目指した。

その結果、2事業所ともグループホームはほぼ満床となり、業績が緩やかに改善傾向となったが、2事業所とも小規模多機能型居宅介護の業績が伸び悩み、次年度に運営課題を残すこととなった。

まだまだ厳しい運営状況の中ではあるものの、緩やかに改善傾向となったこと、また職員のモチベーション向上のため、賞与に関しては例年通り支給することができた。

一方、人材確保のひとつの手段として、外国人技能実習生の本年度夏頃の採用に向け、面接や社員寮の整備など準備を進めてきたが、こちらも新型コロナウイルスの影響により入国、入職に至らなかった。次年度夏頃の入国、入職を予定している。

他方、貸館サービス（紫明会館）のご利用の更なる増加により業績の改善を見込んだが、こちらも前年度終盤からの新型コロナウイルスの影響を受け、本年度もご利用のキャンセル、延期が続き、新たな予約も入らないなど大幅に落ち込んだが、従来からのご利用者は感染対策を十分に行った上でご利用いただくことができたのは救いであった。次年度は新たな管理体制に引き継ぐため、当法人の貸館サービス事業は大幅に減収する見込みであるが、全体の収支としては改善する。

非収益事業においては、例年通りの活動であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の発令中は活動を休止することとした。

以下に各事業からの詳細報告を記載する。

■ 収益事業部門

(1) 紫明会館デイサービス（通所介護事業）

本年度は明確な収支目標を掲げ、新たな仕組みの導入等、基盤作りの年度であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、ご利用の自粛で利用回数、利用登録者数の減少があり、大変苦しい一年であった。65名の登録者数を目指して活動を行ってきたが、61名から56名へという結果に終わっている。またこれまで当デイサービスの強みであった外出イベントが新型コロナウイルスの影響で全て実施できない中、毎月ご利用者にどうすれば飽きずに楽しんでもらえるのかを考え、実行し、結果、様々な工夫や新たな発見、知恵も沢山生まれ、ご利用者からも多くの喜びの声をいただくことができ、職員の自信にも繋がる一年にもなった。

職員の確保に関しては、出産育児休暇からの復帰や派遣職員からの直接雇用、また非常勤から常勤への転換と、年度当初4名いた派遣社員も後半には1名まで減らすことができ、これまで1名であった生活相談員も3名となり、人員配置体制としては安定に至った。

またご利用者のニーズに応えるべく、入浴設備の改修、浴槽の増設を計画したが、人員の確保、業績の回復が優先であったため、次年度以降への課題とする。

(2) 走和の郷（グループホーム・小規模多機能型居宅介護事業）

本年度は管理者の退職に伴い、新たな管理者を配置し、明確な収支目標や仕組みの導入等、基盤作りの年度となった。

前年度後半よりグループホームに関しては空室が常態化し、最少15名入居（空き10室）まで減少し、小規模多機能型居宅介護はご利用の終了が続ぎ、登録者数も1桁に落ち込んでいた。どちらも要因として恒常的な人員の不足や、それに伴いご利用者の受け入れが適切に行えない、またご利用者の体調悪化により他施設へ転居される、さらに新型コロナウイルスの影響によりご利用の申し込みやご利用の自粛があった、等が挙げられる。

しかし新任の管理者により、ご利用者、ご家族様、近隣関係事業所との関係性の再構築への取り組み、また地道な営業活動を行った結果、グループホームは年度末にはほぼ満床となった。同時に人材の確保、育成にも注力し、派遣職員からの直接雇用や人材紹介を通しての採用、研修参加や委員会活動への積極的な関わり等を通して、基盤を安定することができた。

その他 NPO 法人としての地域貢献事業・メセナ活動への取り組みとして、地域交流スペースの活用を地域の方々へ発信、協同し、新たに「いけばな療法」「認知症カフェ」「子ども食堂」を開始できた。いけばな療法は認知症改善の効果が認められた非薬物療法の一つとして実施、認知症カフェは認知症の方々の集える居場所作りとして第1回目を11月に開催、子ども食堂は福祉事業所として地域の子どもさんと高齢者が食事をしながら過ごせる場所として第1回を12月に開催することができた。次年度には助成金を受けられる事業を予定しており、1階旧厨房と合わせて常設カフェ・配食サービス等を検討し地域密着型サービス事業所としての発展を目指す。

新型コロナウイルスの渦中のため使用ができない施設、事業所が増えるなか、他にはない広さを活かしつつ感染対策には十分に配慮しながら、ご使用いただく事で各団体から状況を発信してもらい、地域での信頼を得ていきたい。

(3) 柏野の郷（グループホーム・小規模多機能型居宅介護事業）

今年度は前任管理者が異動となったが、これまで後任育成に取り組んできたこともあり、後任管理者へ交代し新たなスタートとなった。

グループホームに関しては満床 18 室を維持していたが、年度中盤以降、ご逝去や特養入所等によりご退居が続き、4 室減床となった。新型コロナウイルスの渦中の中、ご利用申し込みの延期や自粛があるものの、FAX や電話での営業活動を積極的に行い、年度末にはようやく 2 室ご入居があった。また収支改善に向けて新たな加算（サービス提供体制加算）取得に向け体制等準備を進めた。

同様に小規模多機能型居宅介護についても、通り定員 14 名を目標とし FAX や電話営業を行ってきたが、新型コロナウイルスによるご利用の自粛の影響が大きく、登録者数 9 名と伸び悩んだ。しかし年度末にかけて、これまでの大きな課題であった人員の不足が解消されつつあり、次年度へ向けて期待ができる。

地域行事への参加に関しても新型コロナウイルスの影響により、地蔵盆や盆踊り、お祭り、小学生の慰問等行事活動がすべて中止となり、地域と交流する機会を持つことが難しい状況であったが、職員がアイデアを出し合い、食事レクリエーションや季節行事レクリエーションを通して楽しく過ごし気分転換が図れるよう平常時より一層工夫して取り組むことができた。

3 階地域交流スペースの利用についても地域運営推進会議の場として活用している中、新型コロナウイルスの影響により開催の中止を余儀なくされたが、レクリエーションの様子や取り組み等を定期的にお知らせ、発信することができた。

(4) 紫明会館（貸館サービス）

今年度は前年からの新型コロナウイルスの影響により、予約済みの多くのご利用がキャンセル・延期になり、大幅な収入減少となり、事実上の休業状態であった。次年度は貸館事業を外部に委託することで、管理費の削減や従来のイベントご利用以外の企業誘致などのまったく新しい需要を模索することとする。

■ 非収益事業部門

(1) ふエコ（子育て支援・環境教育事業）

子育て支援・環境教育事業「ふエコ」では、幼児・児童とその保護者および関係者を対象に、京都府下一円およびその近隣地域の保育所、幼稚園、子育てサークル、地域のサークルなどにスタッフが訪問して活動を行った。遊びを通しての環境教育の導入は、地球環境保全への関心の喚起と普及に貢献するものと考え。また、子どもへの啓発活動は、家庭や地域への波及効果も大きく、子どものみならず大人への啓発にもつながると考える。子どもがもっと自然を好きになるために本事業は子どもの心を育てることに貢献したと考える。

今年度は昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の発令中は活動を中止とした。また、実施にあたっては、健康観察やマスクの着用、手指の消毒を徹底するとともに、密を避けるため参加人数を制限し、参加者同士での用具の共用を避けるなどの工夫をして活動を行った。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
各種企業、団体、個人に対する啓発活動を通し、環境保全を推進する事業	環境教育・子育て支援事業「ぷエコ」活動内容は別紙のとおり	R2/4/1 ～ R3/3/31	京都府下一円及びその近隣地域	3名	156名	58
介護保険法に基づく通所介護事業、介護予防通所介護事業、認知症対応型共同生活介護事業、小規模多機能型居宅介護事業	①通所介護事業 介護予防通所介護事業	R2/4/1 ～ R3/3/31	北区 上京区 中京区 左京区	22名	591名	326,509
	②認知症対応型共同生活介護事業 介護予防認知症対応型共同生活介護事業	R2/4/1 ～ R3/3/31	右京区	20名	241名	
	③小規模多機能型居宅介護事業 介護予防小規模多機能型居宅介護事業	R2/4/1 ～ R3/3/31	右京区	9名	61名	
	④認知症対応型共同生活介護事業 介護予防認知症対応型共同生活介護事業	R2/4/1 ～ R3/3/31	北区 上京区 右京区	18名	190名	
	⑤小規模多機能型居宅介護事業 介護予防小規模多機能型居宅介護事業	R2/4/1 ～ R3/3/31	北区 上京区	8名	80名	
その他の事業に係る貸館事業	講演会・イベント等の貸し出し	R2/4/1 ～ R3/3/31	紫明会館	2名	44名	172

(別紙)

子育て支援・環境教育事業「ふエコ」
令和2年度 活動報告

年月日	対象	場所	参加者数	内容
R02/06/25	高槻あいわ保育園 「地球っこクラブ」 5歳児	保育園内 教室	33名	額の中に 山をつくろう
R02/08/02 中止	親子ふれあい体験事業 幼児・小学生 親子	向日市民 体育館	20名	牛乳パックが 大変身
R02/08/27	高槻あいわ保育園 「地球っこクラブ」 5歳児	保育園内 教室	33名	牛乳パックが 大変身
R02/11/19	高槻あいわ保育園 「地球っこクラブ」 5歳児・	野外活動 (東海自然 歩道)	35名	ウォーキング 自然散策
R02/12/05	親子ふれあい体験事業 幼児・小学生 親子	向日市民 体育館	20名	リース まつぼっくりツリ ー
R03/02/18 中止	高槻あいわ保育園 「地球っこクラブ」 5歳児	野外活動 (東海自然 歩道)	35名	ウォーキング 自然散策
R03/03/11	高槻あいわ保育園 「地球っこクラブ」 5歳児	野外活動 (東海自然 歩道)	35名	ウォーキング 自然散策